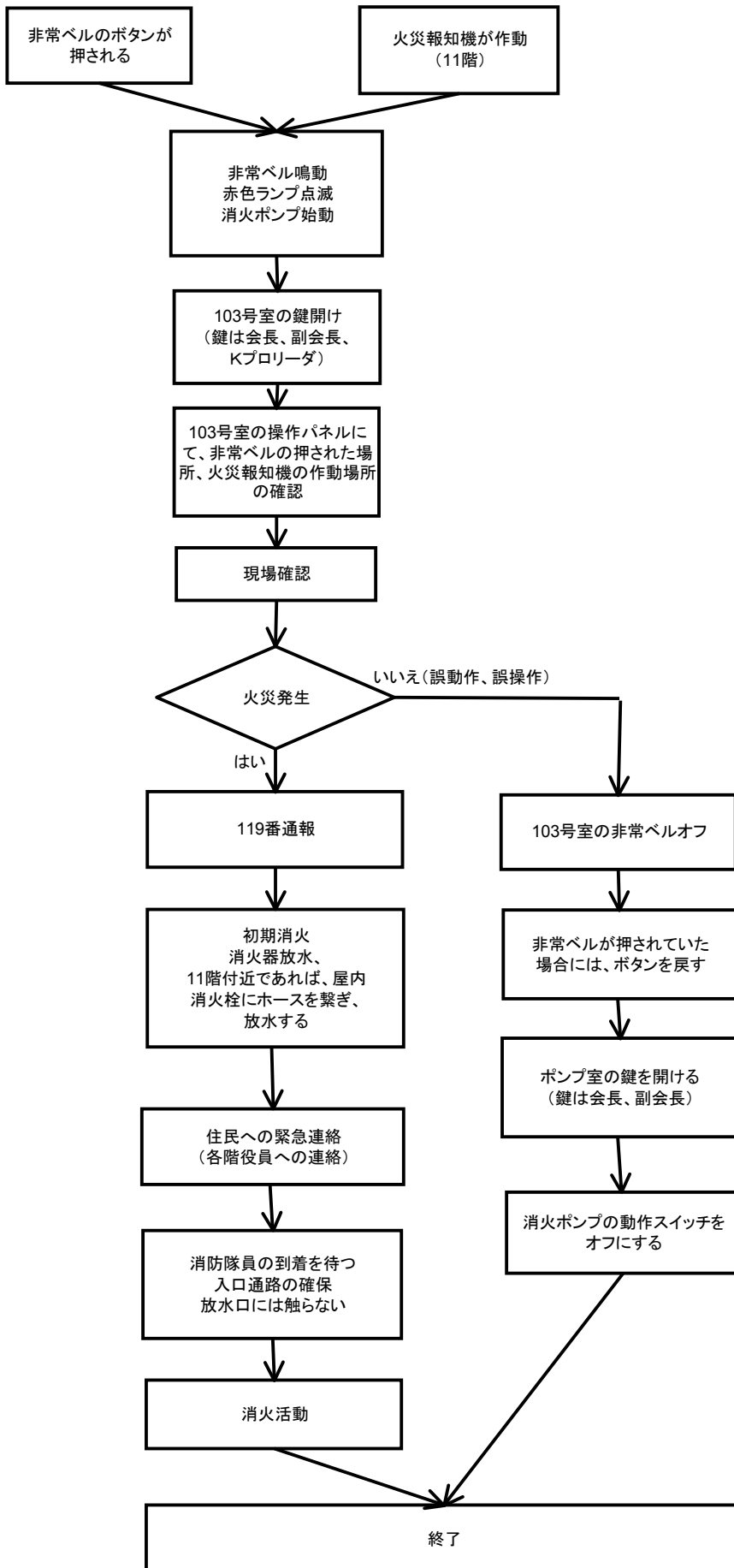


火災時の対応マニュアル

2010年9月4日
日野平山台住宅

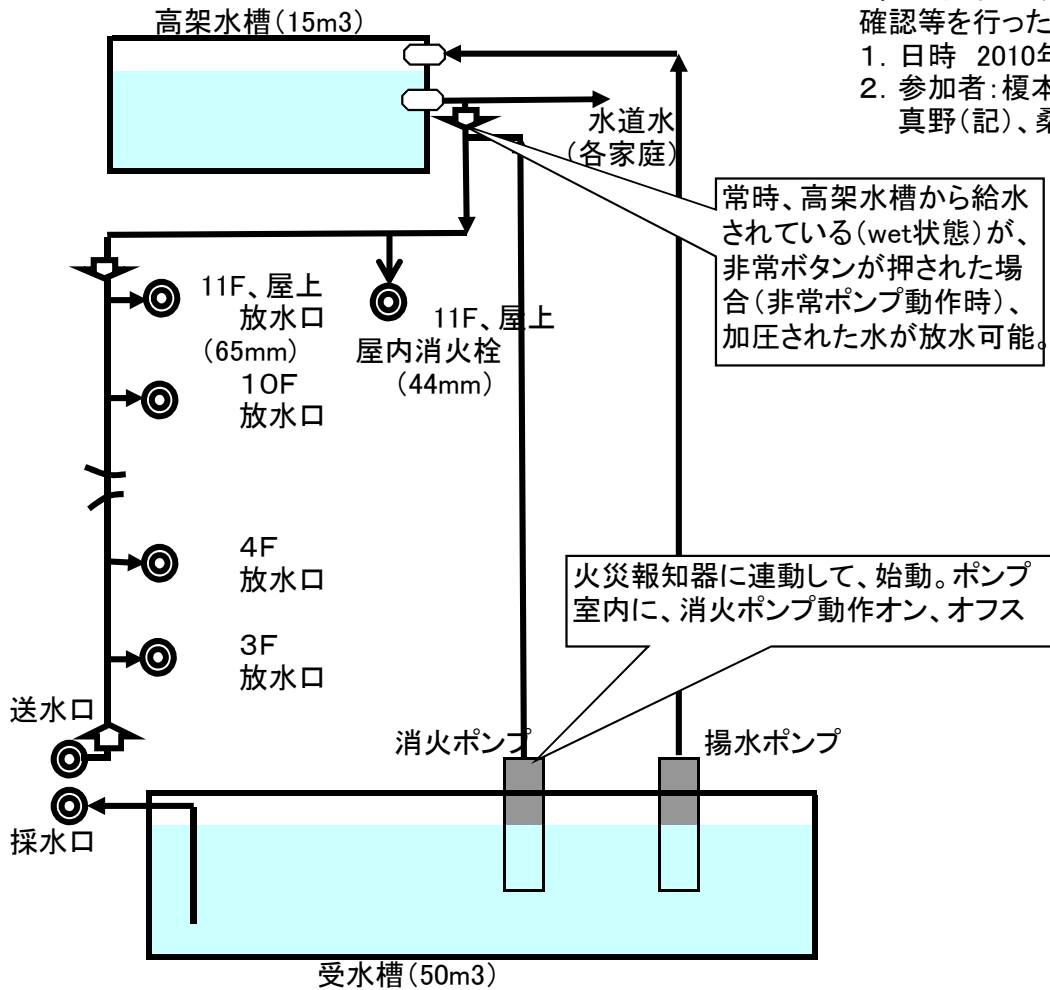


添付資料1: 消火設備構成図

2010年7月22日

当マンションの消火設備の仕様、機能、動作確認等を行ったので報告する。

1. 日時 2010年7月22日(木)9時~12時
2. 参加者: 榎本Kプロリーダー、渡邊副理事長 真野(記)、桑都ビル管理 榎本氏、他2名



■ 主な動作確認した事項

1. 消火ポンプ始動方法について
 - ・非常ベル(各階2か所)のボタンが押された場合、消火ポンプが始動する。
 - ・非常ベルのボタンが押された場合、非常ベルは押された階と直上階のベルだけが鳴る。
 - ・消火ポンプ動作中は、非常ベルの赤ランプがゆっくり点滅する。
2. 消火ポンプ停止方法
 - ・押された非常ベルのボタンを引っ張り、もとに戻す。
 - ・103号室内のスイッチでベルを止める。
 - ・ポンプ室の消火ポンプのスイッチをオフにする。
 - ※長時間、放水せずに消火ポンプのオン状態が継続すると、ポンプが焼きつく場合があるので要注意。
3. 放水口
 - ・3階から11階、屋上にある放水口は、消防車を送水口に連結し、送水した場合に使用する。
 - ・放水時は、水の圧力が非常に高いので、消防隊員が使用し、住民が直接使用することは危険である。
 - ・送水口に連結していない場合、高架水槽の水が接続されており、管の中は給水された状態にある。
 - ※放水口のバルブを開ければ、水が出てくる。(屋上で確認済)
4. 屋内消火栓
 - ・屋内消火栓は11階(2か所)と屋上(2か所)にあるだけであるが、常時は高架水槽の水が給水されている。
 - ・消火ポンプ動作時、加圧された水を放水することができる。
 - ・住民による放水も可能であるが、しっかりと放水口を固定する必要がある。(屋上で放水試験済)

■ 今後へ向けての提案

非常ベルと消火ポンプの動作確認、屋内消火栓による放水試験等を、次年度は土曜日に開催する等、自主防災組織および住民が参加した防火訓練として開催することを提案する。